

平成 1 8 年 第 2 回  
箕面市教育委員会定例会会議録

箕面市教育委員会

平成18年第2回  
箕面市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成18年2月16日(木) 午後1時30分

1. 場 所 箕面市役所 本館 3階 委員会室

1. 出席委員

委 員 長	小 川 修 一 君
委員長職務代理者	白 石 裕 君
委 員	坂 口 一 美 君
委員(教育長)	仲 野 公 君

1. 付議案件説明者

教 育 推 進 部 長	森 田 雅 彦 君
子 ども 部 長	奥 山 勉 君
生 涯 学 習 部 長	上 西 彰 君
教育推進部理事兼総務次長 兼次長(教育政策・学校管理担当)	栗 本 忠 夫 君
教育推進部次長(学校教育・ 人権教育担当)兼学校教育課長	前 田 健 君
子ども部総務次長兼次長	吉 田 直 彦 君
生涯学習部総務次長兼次長	塩 山 俊 明 君
教 育 政 策 課 長	中 野 仁 司 君
教育推進部専任参事 (教職員担当)	森 井 國 央 君
人 権 教 育 課 長	齋 藤 史 惠 君
教 育 セ ン タ ー 所 長	福 永 茂 君
子 ども 政 策 課 長	千 葉 亜 紀 子 君
子 ども 支 援 課 長	南 悦 司 君
子ども支援課参事	谷 口 あ や 子 君
子ども部専任参事 (幼稚園担当)	坂 上 潔 司 君
子ども部専任参事 (早期療育担当)	佐々木 久 雄 君
生 涯 学 習 課 長	中 澤 博 君
生涯学習部専任参事 (中央生涯学習センター・西南公民館担当)	津 田 善 寿 君
生涯学習部専任参事 (東生涯学習センター担当)	加 藤 真 知 子 君
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	前 田 功 君
スポーツ振興課参事	松 尾 高 子 君
中 央 図 書 館 長	黒 田 正 記 君

1. 出席事務局職員

教 育 政 策 課 長 補 佐	小 山 登 志 子 君
教 育 政 策 課	森 貴 美 君

## 1. 議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指定
- 日程第 2 箕面市児童デイサービス手数料条例改正要請の件
- 日程第 3 箕面市立箕面文化・交流センターの指定管理者指定要請の件
- 日程第 4 箕面市教育委員会所管に係る平成17年度箕面市一般会計補正予算要請の件
- 日程第 5 箕面市教育委員会所管に係る平成18年度箕面市一般会計当初予算要請の件
- 日程第 6 平成18年第1回箕面市教育委員会定例会会議録の承認を求める件
- 日程第 7 教育長報告

(午後1時30分開会)

- 委員長(小川修一君) : ただ今から、平成18年第2回箕面市教育委員会定例会を開催いたします。議事に先立ちまして、事務局から「諸般の報告」をしていただきます。

(事務局報告)

- 委員長(小川修一君) : ただ今の報告のとおり、本日の出席委員は4名で、本委員会は成立いたしました。
- 委員長(小川修一君) : それでは、日程第1、「会議録署名委員の指定」を行います。本日の会議録署名委員は、箕面市教育委員会会議規則第4条第2項の規定に基づき、委員長において仲野委員を指定いたします。

- 委員長(小川修一君) : 次に日程第2、議案第4号「箕面市児童デイサービス手数料条例改正要請の件」を議題とします。議案の朗読を事務局に、提案理由を子ども部早期療育担当専任参事に求めます。

(事務局：議案朗読)

- 早期療育担当専任参事(佐々木久雄君) : 本件は、障害者自立支援法の制定に伴い、箕面市児童デイサービス手数料条例の規定を整備するため、本条例の一部改正を要請するものでございます。

- 委員長(小川修一君) : それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。

- 委員長(小川修一君) : ご質問ご意見がないようでございますので、

議案第4号を採決いたします。本件を原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(“異議なし”の声あり)

- 委員長(小川修一君) : 異議なしと認めます。よって、本件は原案どおり可決されました。
- 委員長(小川修一君) : 次に日程第3、議案第5号「箕面市立箕面文化・交流センターの指定管理者指定要請の件」を議題とします。議案の朗読を事務局に、提案理由を生涯学習部生涯学習課長に求めます。

(事務局：議案朗読)

- 生涯学習課長(中澤博君) : 本件は、地方自治法第244条の2第6項及び箕面市立箕面文化・交流センター条例第4条の規定に基づき箕面市立箕面文化・交流センターの指定管理者を公募いたしました結果、3団体の応募があり、箕面市立箕面文化・交流センター指定管理者候補者選定委員会において審査をおこないました結果、箕面都市開発株式会社が指定管理者の候補者として選定されましたので、箕面市立箕面文化・交流センターの指定管理者として指定するため市長に要請するものでございます。
- 委員長(小川修一君) : それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。
- 委員(坂口一美君) : 具体的に選定業者についてお聞かせ下さい。
- 生涯学習課長(中澤博君) : 箕面市立箕面文化・交流センターにつきましては、貸し館機能とあわせ、地域の活性化の拠点と考えております。箕面都市開発株式会社の参画組織の中に「箕面わいわい株式会社」があり、現在、箕面駅前の活性化の中心となる組織として活動して頂いております。その点について、選考委員会での地域の活性化という大きなポイントとなっております。
- 委員長(小川修一君) : 展示内容なども斬新なものをお考えおられるのですか。
- 生涯学習課長(中澤博君) : 箕面の今昔物語、タウンインフォメーションの基本である歴史や観光等を中心にかなりの事業経費を充てていただくという提案もございました。
- 委員長(小川修一君) : 歴史的な経緯、資料的なものを豊かに取り入れるという考えはあるのですか。
- 生涯学習課長(中澤博君) : 地下にタウンインフォメーションを予定しており、併せて、郷土資料館を8月1日にオープンいたしますので、一体的な連携を図りながら地域の活性化に繋げていくものです。
- 委員長(小川修一君) : 他にご質問ご意見はございませんか。

○委員長（小川修一君）： ないようでございますので、議案第5号を採決いたします。本件を原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（“異議なし”の声あり）

○委員長（小川修一君）： 異議なしと認めます。よって、本件は原案どおり可決されました。

○委員長（小川修一君）： 次に日程第4、議案第6号「箕面市教育委員会所管に係る平成17年度箕面市一般会計補正予算要請の件」を議題とします。議案の朗読を事務局に、提案理由を教育推進部総務次長に求めます。

（事務局：議案朗読）

○教育推進部総務次長（栗本忠夫君）： 本件は、平成17年度の教育委員会所管に係る予算におきまして、各事務事業経費について見直し検討いたしました結果、補正予算を編成する必要が生じたので、市長に要請するものでございます。

○委員長（小川修一君）： それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。

○委員（白石裕君）： アスベスト対策以外は、減額補正ですが、減額補正がベースとなって平成18年度予算が組まれるのですか。当初の予算要求を嵩上げて要求していると思われませんか。

○教育推進部総務次長（栗本忠夫君）： 当初の予算要求につきましては、数社の業者見積もりをとり、また、光熱水費については、過去3年間の実績の平均値で要求をあげております。財政担当部局は、それに基づき査定をいたします。工事等の発注時には、契約担当課等で競争入札を行いますので、当初の要求額より契約額が低く抑えられることがあり、今回のように減額補正することになります。このことは、全庁的なことでございます。

○委員（坂口一美君）： 外国人英語指導助手など退職されて非常勤報酬が減額となっているということですが、年度途中の欠員になった場合、その人材は補充されるのでしょうか。

○教育センター所長（福永茂君）： 外国人英語指導助手につきましては、年度当初、ハット市から3名の非常勤職員の派遣、委託業者から4名の派遣がございました。今回、ハット市から派遣されておりました非常勤職員が体調を崩して帰国いたしましたので、委託業者の派遣を1名増員して、欠員の補充を行っております。

○生涯学習課長（中澤博君）： 郷土資料館の学芸資格を持った非常勤が10月で退職しましたが、今年度につきましては、館長を含め職員が対応しておりますが、新年度につきましては、資格を持った非常勤職員の

採用に向け、調整を行っているところです。

- 委員長（小川修一君）：坂口委員が懸念されているのは、欠員になった後、人員は埋められているのか、事業の中で欠員になれば事業が十分に機能していくのかを聞かれているのですが、その点についてはどうですか。
- 教育推進部総務次長（栗本忠夫君）：その点につきましては、先ほど教育センター所長が説明いたしましたように、ハット市から派遣された職員が退職した後は、委託業者の派遣員を1名増やして対応しております。また、年度途中で退職、病休等で欠員がでた場合は、臨時雇用の職員等で対応して、事業に支障がないようにしております。
- 委員長（小川修一君）：他にご質問ご意見はございませんか。
- 委員長（小川修一君）：ないようでございますので、議案第6号を採決いたします。本件を原案どおり可決することにご異議ございませんか。  
（“異議なし”の声あり）
- 委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。よって、本件は原案どおり可決されました。
- 委員長（小川修一君）：次に日程第5、議案第7号「箕面市教育委員会所管に係る平成18年度箕面市一般会計当初予算要請の件」を議題とします。議案の朗読を事務局に、提案理由を事業の所管する各部総務次長に求めます。

（事務局：議案朗読）

- 教育推進部総務次長（栗本忠夫君）：本件は、平成18年度の教育委員会所管に係る予算を編成する必要があるため、市長に要請するものでございます。  
《議案書17頁から20頁の歳入の説明、21頁から25頁の教育推進部の歳出予算等の説明、34頁の人件費、継続費及び債務負担行為の説明》
- 子ども部総務次長（吉田直彦君）：  
《議案書26頁から30頁の子ども部歳出予算の説明》
- 生涯学習部総務次長（塩山俊明君）：  
《議案書31頁から33頁の生涯学習部歳出予算の説明》
- 委員長（小川修一君）：それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。
- 委員（白石裕君）：非常に厳しい財政状況と聞いておりますが、その中で全体的に切りつめて予算を組まれていると思います。子どもたちの数は、箕面市の場合減っておらず、むしろ増えてきております。その中で、教育サービスの予算も厳しく査定しなければいけないと思いますが、

子ども一人当たりの教育費が、従来通り子どもへの教育サービスが提供出来るのでしょうか。もう一つは、平成18年度予算の教育委員会としての特色は、特に学校教育における特色は何ですか。どのような点に配慮して組まれているのですか。その点について、お聞かせください。

○教育推進部総務次長（栗本忠夫君）：前年度予算と比較して、大きく増減がありますのは、施設改修等の臨時事業がある場合で、その事業が終了すれば、翌年の計上予算は、大きく減額になります。白石委員の言われている子ども達への教育サービスにつきましては、予算でいいますと、毎年度必要な経費、經常経費として組まれており、大きく変わるものではないと思いますので、従来通りの教育サービスが提供できるものと思います。

○教育推進部長（森田雅彦君）：平成18年度教育推進部の目玉的な予算につきましては、平成20年4月に水と緑の大阪府が開発しております地内に、小中一貫校を建設することに向けた予算を組んでいることで、特に、学校教育課でカリキュラムをどのように作っていくかということが課題です。人権教育課では、平成19年度から始まります、特別支援教育に向け、巡回指導員の予算を付けていただいたこと、学校管理課では、給食の委託が現在3校ですが、新たに豊川南小学校でも委託をスタートさせること。屋内体育館の耐震診断が実施できていないところを実施をすることで、これは、市民の避難場所となっておりますので先に実施をしていくこととなっております。指導面につきましては、教育委員会委員さんにも論議をいただきました、30人学級、平成17年度は生徒指導の補助教員の配置を小学校4名、中学校4名を付けていただきましたが、それに加え小学校1年生の30人学級を実施をしていくための人件費を計上しております。特色ある学校作りにつきましては、各学校20校に、それぞれ予算を渡し、毎年計画を立て実施をしていただいております。大きな課題となっております、安全・安心につきましては、府の補助をいただき平成17年度から配置している警備員を引き続き配置をしていきます。

○教育長（仲野公君）：この予算で子どもの教育を充分できるのかというご心配をいただいておりますが、全国的に見てまいりますと一般会計に占めます教育費の平均値は、10%前後といわれております。箕面市の今年度の一般会計に占めます教育費は、生涯学習も含め12.6%となっております。パーセント的には、厳しい財政事情ではありますが教育費予算は計上されていると分析しております。特色ある教育に付いては、森田部長が説明いたしましたが、確かな学力を保障すること、子ど

もの安全・安心、教職員の資質の向上が大きな課題になっておりますので研修等について配慮いたしました。

- 委員（白石裕君）： 24頁の「学校協議会設置事業」の学校協議会とは、コミュニティースクールのことですか。
- 教育推進部次長（前田健君）： 学校協議会は、基本的に学校の応援団のことです。地域の方々、PTAの方々の意見をいただき、学校長が学校運営を進めるというものです。コミュニティースクールという形は取っておりません。
- 委員（坂口一美君）： 安全対策の件ですが、府の補助で警備員の配置がありますが、今後、府の補助が無くなったときなどの防犯対策、警備員の配置など展望はどのように考えているのですか。
- 教育推進部総務次長（栗本忠夫君）： 警備員の配置は、平成17年4月24日からで配置してからの月日があまりたっておりません。また、まだまだ子どもたちが危ない状態も続いております。教育委員会としては、府の補助が無くなった時点で、検証し、警備員の配置は続けていきたいと考えております。
- 委員（坂口一美君）： 30人学級の件ですが、現場の声、保護者の声などは聴かれていますか。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）： 校長先生につきましては、教育長との面談があり、直接話を聞く場があります。また、年間を通じ学校を訪問させていただきながら現場の声を聴かせていただいております。
- 委員（坂口一美君）： 私たちが望むのは、加配を望むのですが、もう少し具体的に検証されて予算組みをされているのか聞かせて下さい。
- 教職員担当専任参事（森井國央君）： 具体的な数字としての検証はしておりませんが、現在府の方で、38人学級を実施しております。府を通じて実施校は小学校で2校ありますが、年間通じて、数回直接学校に項目をたてアンケートを実施して調査はしております。
- 委員（白石裕君）： 30人学級については、人数が適正であるかということは学問的には色々議論があるところだと思います。政策として30人というのがでてきたのですが、それがどの様に妥当性があるのかは国の政策としていわれてきましたが、問題もいろいろあるように思われますので、実施されるときは、慎重にやって下さい。何が一番大事かは、子ども達がきちんと勉強を見てもらえる体制を組むことだと思います。
- 委員長（小川修一君）： 白石委員がいわれているのは、実際に予算を申請して30人学級を実施するに当たり、学校現場の方で細かい配慮をしながら実施するというのを教育委員会事務局として心得ておかな



ければいけないというご指摘だと思います。それぞれの学校の状況というものが有ると思いますので、それを踏まえて事務局としてこの事業については、細やかな配慮をもって実施することが効果を生むことだというご指摘だと思います。我々教育委員会として、学校現場にその様な主旨を十分に伝え実施すべきだと思います。

○教育長（仲野公君）： 30人学級についてですが、校長あるいは他の学校現場の教員と話をする中で、いま現在学校が抱えている課題は沢山ありますが、一つには、幼稚園から学校に進級してきた時の、学校生活になかなか慣れないという課題があります。また、中学の生徒指導についてはいろいろ課題があったのですが、低年齢化しており小学校でも生徒指導面について、かなり大きな課題となってきました。これらを支援するための制度を確保して欲しいというのが学校現場の声でございます。大阪府では4年間をかけ、38人から35人までを1年生・2年生を対象に実施をしていきたいと現在取り組んでおります。それをさらに少人数化する30人学級はどうかということは一定の議論はさせていただいております。これまでも少人数学級というよりも少人数指導として、30人以下の対象として指導もすでに実施してきております。優先順位からいいますと、生徒指導で、学校の校長の裁量によっていろいろ運用できる制度が一番良いというのが、今の校長の意見と把握しております。教育委員会としてこれまで30人学級についていろいろ議論してきた経過もございますので、平成18年度予算にこのような形で反映をさせていただきました。

○委員（坂口一美君）： 予算編成にあたっては、保護者、子ども達や現場の声を汲み上げて反映させていただきたい。

○委員（白石裕君）： 教育予算は、使い放しでなく実際にどのような効果があったのかを検証する必要があると思います。坂口委員が言われたように使った後の評価をしてフィードバックして新たな予算を組むというシステムになれば望ましいことと思います。実際にサービスを受ける人の話を聞いた形で予算を組むことが大事かと思えます。

○教育推進部長（森田雅彦君）： 学校の状況、子どもたちの声、保護者の声、教員等の声は、毎年秋に予算編成に向け、学校長、園長、所長の要望としていただいております。その様なことを基に事務局のみで予算を組むのではなく、実際に学校等に足を運び、ヒアリングも行い予算を組んでおります。また、フィードバックの件ですが、指導計画を各学校園で立てておりますので、春には必ず教頭先生にヒアリングをし、毎学期毎に中間のまとめを委員会に報告をいただき、年度末に一覧表にまとめ

て学校に渡しております。

- 委員長（小川修一君）：他にご質問ご意見はございませんか。
- 委員長（小川修一君）：ないようでございますので、議案第7号を採決いたします。本件を原案どおり可決することにご異議ございませんか。  
（”異議なし”の声あり）
- 委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。よって、本件は原案どおり可決されました。
- 委員長（小川修一君）：次に日程第6、報告第3号「平成18年第1回箕面市教育委員会定例会会議録の承認を求める件」を議題とします。議案の朗読を省略し、提案理由を教育推進部総務次長に求めます。
- 教育推進部総務次長（栗本忠夫君）：本件は、去る1月17日に開催されました「平成18年第1回箕面市教育委員会定例会会議録」を箕面市教育委員会会議規則第4条の規定に基づき提案するものでございます。
- 委員長（小川修一君）：それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。
- 委員長（小川修一君）：ないようでございますので、報告第3号を採決いたします。本件を報告どおり承認することにご異議ございませんか。  
（”異議なし”の声あり）
- 委員長（小川修一君）：異議なしと認めます。よって、本件は報告どおり承認されました。
- 委員長（小川修一君）：次に日程第7、「教育長報告」を議題といたします。教育長に報告を求めます。
- 教育長（仲野公君）：（議案書49頁により報告）

《教育行政の課題等》

○平成17年度市町村教育委員会委員長・教育長会議について

平成18年度に対する大阪府からの各市長村への要望について説明

- ・子どもの安全・安心の問題：これまでもいろいろと取り組みをされているが、これで充分ということはないので、各学校単位の危機マニュアルを作成するなど実行のあるものにしてもらいたい。
- ・義務教育の改革について国の動きがある中で、市町村の役割が強化される方向にある。今後、国の動向を充分見極めた上で対応できるようにされたい。
- ・教職員の体制を強化するということで、新たな職責として首席、指導教諭のポストを置きたい。平成18年度からは府立高校に、義務教育については平成19年度から実施したい。
- ・「大阪こころの再生」として、12月20日に宣言をされたものが、平

- 成18年度事業として運動を展開するので協力をお願いしたい。10年計画だが、前倒しとして3年間の重点期間とするので協力をお願いする。
- ・学力の実態調査を今年の5月に実施するので協力をお願いする。
  - ・教職員の不祥事が今年も過去最高の件数を示している。さらに指導徹底をお願いする。

○バイキング及びセレクト給食について

食教育の取り組みとして、全小学校の6年生及び止々呂美中学校を対象に、お別れ給食として、バイキング給食を試行いたします。また、3月には、デザートを子どもに事前に選択させるセレクト給食を試行いたします。

○平成17年度第1回箕面市子ども育成推進協議会について

1月19日に第1回を開催し、委員の任命、会長の互選があり、会長に前教育委員会委員長の浅岡建三氏が決まりました。

○平成17年度第1回箕面市立保育所民営化法人選定委員会について

1月28日に第1回を開催し、委員の任命、委員長の互選があり、委員長に倉戸直美氏が決まりました。市長から諮問書の提出があり、今後のスケジュール等について協議いたしました。

○平成17年度箕面市青少年健全育成市民大会について

2月18日午後1時30分からメイプルホールで開催されます。

第1部で、大会決議及び青少年健全育成推進功績功労者の表彰、第2部で「ハリーポッターとアズカバンの囚人」を上映いたします。

- 委員長（小川修一君）： それでは、ご質問ご意見をお受けいたします。
- 委員長（小川修一君）： ないようでございますので、以上をもちまして、本日の会議日程は、終了しました。「その他、教育行政に係る報告」があれば、申出を受けますが、いかがですか。
- 委員長（小川修一君）： ないようでございますので、本日の会議は、全て終了し、付議された案件、議案4件、報告1件、すべて議了いたしました。これをもちまして、平成18年第2回箕面市教育委員会定例会を閉会いたします。

（午後2時55分閉会）

以上のとおり会議の次第を記し、相違ないことを認めたので、ここに

署名する。

箕面市教育委員会

委員長

小川修一

委員

仲野公